

たかくまだより

R7.4.5 第11号 高塚熊野神社



ヤタカラ君

FMHaro
「たかくまだより」
第4木曜
17:35~
第8回放送



お知らせ 第12回 月例文化講座

4月19日(土) 15:00~

会場=熊野神社 社殿内

演題=**これからの高塚熊野神社**

講師=宮司 戸塚昌宏

高塚町の皆さんへ

なおび みたま
「直毘の御霊」

高塚熊野神社宮司 戸塚昌宏



四月から新年度が始まります。新しい環境での生活が始まり、新組織の中で活動を始める方々もいでしょう。この「初心」が一番生气溢れるときなのです。

しかし霊の力・魂の働きは、放っておくと次第に弱っていきます。つい毎日の忙しきにかまけて、神棚にお供えもせず、榊も枯れてしまっている。こんなときには、心の余裕も失い、怒りっぽくなり、夫婦喧嘩をしたり仕事もうまくいかなかったり、大怪我をしたりし易いものです。そんな状態が続くと、家庭内もバラバラになり社会とも疎遠となって体調を崩し、「病んだ気」つまり「病気」になってしまいます。そうしてさらに生命の気(ケ)が次第に枯れて行った姿が、「死」なのです。古来これを「**気枯れ(ケガレ)**」と呼び、こうした「病気」や「気枯れ」から生命力を回復し、よみがえらせるのが、「**直す**」ことなのです。

人は人だけで生きているのではありません。天地の運行の中に含まれています。心を鎮めて自分の中に神様を迎えましょう。まず朝、水で顔を洗い、新しい生命をいただきます。「朝」という字を分解すると十月十日(とつきとうか)です。お母さんのお腹から生まれた時、産湯をつかうのと同じです。そして朝日を拝んで新鮮な「気」を身体に取り入れ、そして神様、ご先祖様にお参りしましょう。すると自然に心が清々しく、明るくなります。この働きを「直す」といいます。一旦病に陥ったものを元の望ましい姿に戻し、癒すことをいいます。この「直し」の働きを「**直毘の御霊**」といい、神様を信ずる者だけが戴ける大きな御神意なのです。行き詰ったときには一旦立ち止まり、初心に帰ることが元氣を取り戻す近道だと思います。

高塚南北子ども会共催

神様教えて



今回は、ながのまひろ君(小学3年生)からの質問です。

Q 神社はどうして山みたいなのところにあるの？

縄文時代以来、日本では「大木や巨岩、山や森、島など大自然には神が宿る」とされてきました。特に山は「天に近いところ」であり、神様が降りてくる場所として、山の上や山のふもとに神社が建てられることが多かったのです。

また山は、生きるにはきびしい環境であり、だからこそ苦しい修行をするのにふさわしい場所とされました。高塚熊野神社のルーツである、和歌山県の山奥に位置する熊野本宮大社・熊野那智大社などは、厳しい修行によって悟りを得ようとする人たちによって支えられてきました。

ちなみに神社は山の上ばかりでなく、水田で米を作る人たちがお参りしやすいように平らな土地に建てられたり、海に神が宿っているとされる地域では海の上に神社が建てられたりもしています。



那智大社は四六七段の石段を登った山の中にある。



海上に建てられている広島県の厳島神社。

お宮の四季



花が咲いても毎年、夏を越せなかった稲荷神社のキツネツツジ。今年は根枯れしないよう、大きな株を植えました。4月下旬にはいくつかの黄色い花が咲く予定です。見に来てください。

ご案内



はつみやもうで 初宮詣のお勧め

高塚熊野神社では、生後約一ヶ月を迎えたお子様の無事な成長と安全を祈願する「初宮詣」を、いつでもお受けしております。また、引っ越してこられたばかりのご家族も歓迎いたします。

御祈祷のご予約やご相談は以下にてお願いします。

社務所 ☎053-448-2288 受付時間 9:00~16:00

※例年10月6日に斎行しておりました「産子祭」は、令和7年より休止させていただきます。